

令和3年度 第1回沼津市障害者自立支援協議会（委員意見）

(1)沼津市自立支援協議会の開催状況について

①個別支援会議の開催状況について

- ・新型コロナウイルス感染防止をはかりながら、会議を開いていただきありがとうございました。
- ・計画相談の会議とこの個別支援会議の違い、とらえ方を各事業所にも周知していただくと課題が見えてくるのではないのでしょうか。
- ・コロナ禍での開催、ありがとうございます。「資料1-2」その他の8件12名の特に3月の事案が気になりました。
- ・コロナ禍とはいえ、年間通して会議開催が0の障害があるという状況の確認。
- ・回数として上げる会議の条件を再度教えてください。
→個別支援会議の開催要件の資料を添付します。改めて各専門部会、相談支援事業所にも周知する予定です。
- ・支援会議が必要であったが、コロナ禍で開催できなかった時に、どのように支援の課題に取り組んだのかの例を教えてください。
- ・令和2年度はケースをかなり絞り込んでの開催でしたが、そこからはずれたケースについての代替の支援等はなされたのでしょうか。
→関係機関が一堂に会することはできなくても、個別に電話連絡等で相談、調整を行い、支援を実施しています。
- ・過去5年程度の開催状況の資料があると経年的に問題がとらえられると思う。
- ・コロナ禍の中での会議がたいへんなのでリモート等の方法も今後考えるとよいと思う。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の状況下、開催継続していただき恐縮です。
- ・開催回数の減少については、感染症まん延防止対策の観点からやむを得ないものと考え
- ・厳しいコロナ禍下、対面的会議による協議が制約されている現状において、生活者の視点からはこうした状況下であるからこそ支援を求めていることを察すると、日常的連携の在り方をさらに探求して課題があると感じる（特に精神障害者ケースから実感）。

②運営部会の開催状況について

- ・活動が制限される中で、開催していただきありがとうございました。
- ・会議数が少ないことは仕方ありません。「日中サービス支援型グループホーム」の評価につきましては注視したいと存じます。
- ・各組織が連携した取組みを行うためには運営部会は大切な会議だと思えます。
- ・新設された沼津市障害者基幹相談支援センターの現状の取組と今後の目標が明示されていたと思えます。
- ・運営部会（専門性領域）における公的制度下での問題解決の中から、私自身の立場から言えることは、いかに市民主体、地域主体（市民性領域）にアプローチできるかを問題提起したい。

③専門部会の開催状況について

- ・コロナ禍の中で対面の開催は難しいと思えますが、課題が多くあると思われるので定期的な開催をお願いします。
- ・活動が制限される中で、開催していただきありがとうございます。
- ・コロナ禍での日中活動の重要性や今後、地域移行に向かった際のシステム整備が重要との認識です。
- ・ヘルパーの地位向上は課題との認識です。
- ・各専門部が厳しい社会情勢の中でも課題を意識した活動がなされていると思えます。また、必要に応じて専門部同士の情報交換や連携した取組みがなされていくとよいですね。
- ・医療的ケアについては、年ごとに変更に応じた対応、研修が必要と考える。
- ・各専門部会の課題がわかりやすく、今後の方針についても明確になっているので課題の解決に向けて期待しています。自分が所属する「日中活動」でも具体的な話ができて良かった。「居宅生活」でも介護サービスとの連携が進むような協議が行われ、「療育・教育」についても自分が所属する会の会員にとって身近なことが協議され良かった。コロナ禍で書面開催になることが多いが、会にもちかえって当事者の意見が反映されるようにしていきたい。
- ・各部会共に今年度の活動について大切な内容を掲げているので、コロナ禍ではありますが成果をあげられるよう努められたい。
- ・保育所等訪問支援の強化の必要性を感じた。現状、普通の保育士が医療的ケア児、障害児の保育を行っている。
- ・運営部会（専門性領域）における公的制度下での問題解決の中から、私自身の立場から

言えることは、いかに市民主体、地域主体（市民性領域）にアプローチできるかを問題提起したい（特に「教育と福祉の融合」において「コミュニティ部会」の検討）。

(2) 沼津市障害者基幹相談支援センターについて

- ・沼津市直営のセンターが設置され、大変有難いです。今後、相談支援事業所との役割分担、連携を深めていけるようお願いいたします。
- ・順調な活動を期待しています。
- ・市が主体となって中心的役割を担っていただき、とても感謝しています。
- ・多様なニーズに対して様々な機関が連携して支援にあたるための中心になっていると思います。
- ・基幹相談支援センターができたことは大変心強い。自立支援協議会についても事務局となって協議内容も変わったと思う。当事者にとってはワンストップで相談できる場所があるのは心強い。自分の会でも会員に周知したい。これからさらに支援が充実することを望みます。
- ・基幹相談支援センターの役割は大変重要だと思います。精神障害の方の相談が多いのに驚かされました。
- ・新設された組織の構成と役割が明示されていたと思う。
- ・今後の利用、対応状況に応じ、必要があれば配備職員の増員等を進められたい。
- ・新規取組みとして大いに期待する。こうした新規事業はとりわけ、これからをどうするかという視点が強く出るが、“これまでを”大切に「プロセス重視」に期待したい。又、トータルコーディネート機能でワンストップ対応がさらに前進できるようにしてほしい。

(3) 日中サービス支援型グループホームの評価について

- ・今年度中に評価を実施する予定とあるが、形式的にならない評価を望む。
- ・日中サービス支援型のグループホームには大きな期待をしています。充実した地域生活を送るためにグループホームだけではなく、自立支援協議会としてもどのような支援が望ましいのか、一緒に検討していただく機会になるとよいと思います。
- ・評価し、それを公表していくことが信頼を得ていくこととの認識です。
- ・適切な評価をお願いします。
- ・近年、全国展開している株式会社が運営するグループホームがたくさんできてきている。何ヶ所か見学に行かせてもらったが重心に対応するのは難しいと感じるところもある。

地域の社会福祉法人が運営してくれた方が安心であるが、どこも難しいというなかで、新しく開所するグループホームをきちんと評価する制度があり、支援の内容が利用したい人に提供されれば選択する時の参考になりありがたい。相談支援とも情報を共有して利用者の利益につなげてほしい。

- ・現在のこの制度の具体的実施状況を知りたい（一般的 GH との違いや現在の施設数や運営状況）。

→日中サービス支援型グループホームについてまとめた資料を添付しました。

- ・しっかりとした評価をして頂きたい。実際に関与する事があった相談支援事業所等からもアンケートを取って頂きたい。新しくできた日中サービス支援型グループホームにも問題点が見受けられるので、併せて評価をお願いしたい。他のグループホームで不適格であった人材を新設のグループホームが雇用しているのは如何なものか。
- ・現状をさらにきめ細かく支援できる工夫と、常に対地域コミュニティとの融合をめざしてほしい。

(4)第4次沼津市障害者計画の進捗状況について

- ・高齢者で一人暮らしの人は地域住民の理解が必要ですが、あまり外出も少ない為、コミュニケーションが取れていないようですので災害があった時避難所にも入れないと心配です。
- ・障害のある方の支援と地域での暮らしやすさは関連してくるように思います。うまく進むことを期待しています。
- ・計画の評価にもっと当事者、現場の事業所が関わるとよいと思います。
- ・令和2年で後退している面が多いとの認識です。
- ・すべてに完璧は無理ですが、「親なきあと」の生活の確保を引き続きお願いします。
- ・コロナ禍であるからこそ、進捗状況が思わしくない項目についての具体的なテコ入れの施策を検討願います。
- ・自分の所属する会で特に必要とされる事業の項目について
7ページ114、115、118、8ページ126、127、128 これらは評価が4になっている。
移動支援やショートステイは、時間・日数の支給があっても使える事業所がない。どうしたらサービスを使えるようになるのか考えてこれからの計画目標にしてほしい。
- ・No.64 精神障害者を抱える家族会会員（まごころ会）が市から委嘱を受け毎月2回第2、第4水曜日に10時から15時まで、サンウェルにて相談活動（面談方式）を実施しています。

・ No.69 市営住宅における GH 整備の検討事例

- ・ パラリンピックの東京開催で、児童、生徒の観戦、課題が大きくマスコミに取り上げられている。障害者自身に対するきめ細かな支援とともに「共生社会実現」は全市民の意識改革が必要と感じる。今後の評価はこの点を大きく取り上げたい。

(5) その他（報告）について

- ・ ヘルプマークは大変良いことだと思います。男性が女性の介護をされていて特に困るのはトイレに連れていく時好奇心目で見られると言うことですので、これからも積極的に PR をお願いします。
- ・ 障害者差別解消相談の件、お店側はその意図がなくてもそう捉えられてしまう面もあるかもしれません。また、電話でのやりとりには充分、注意が必要と感じました。
- ・ ヘルプマークの告知、ありがとうございます。
- ・ コロナの感染がおさまらず大変な時ですが、親の高齢化はまったなしです。本人、家族が安心して暮らせる社会の実現に向けて自立支援協議会が機能してくれる事を望みます。コロナについては、親、家族、本人、誰かが感染した時の入院や療養、隔離など、どうなるのか不安を抱えています。自立支援協議会でも対応を検討していただくと助かります。
- ・ 障害者差別解消相談がとても参考になりました。ていねいな対応をされていて良いと思います。
- ・ 障害者差別解消相談が特定の方の苦情対応とならないよう制度趣旨普及に尽力されたい。

● その他（自由記述）

- ・ 知的障害者は“基礎疾患”の分類の中に入った（新型コロナ予防接種）。今後も予防接種はあるかと思うので、自立支援協議会で安全で迅速に予防接種ができる方法を検討してほしい。
- ・ 新型コロナ禍の中、教育実習生の受入れや見守り、短期入所の受入れを注視することがあったが、そのニーズは高い。これらの対応を自立支援協議会として検討してほしい。
- ・ 各種スポーツの推進、運動場の拡充（スポーツ大会、グランドゴルフ等）、よろしくお願いします。
- ・ 市内に新規の事業所が開設されていますが、自立支援協議会への参加はどのくらいの数の事業所にいただいていますか？

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で当所主催の「障害者就職面接会」が中止になったことにより、「雇用・就労促進」の項目の進捗が低下したが、今後はウィズコロナ時代における雇用機会の確保の取組をより一層進めていきたい（沼津公共職業安定所）。
- ・文書に「UD フォント」を使用していただき有難うございます。自身ですすめているのに育成会の会報が伝統的に「MS ゴシック」である点、理解が得られるように私も頑張ります。
- ・勉強会が復活できるといいと思いますが、もし部会等から希望する内容があがれば検討していきたいです。
- ・顔を合わせて会議ができる日が早く来ることを願っています。
- ・行政のやっていることがよく知られていない面も多々あるので、会役員等には分かりやすいデータは今後も配布、説明するようにしたい。
- ・私自身、厳しいコロナ禍で、コミュニティ活動がほとんど姿を消してしまっている今日、果たして子どもたちの思いやりの心はどうかを書く助成事業で「福祉ってなに？〇〇名の子どもたちに聞きます」調査事業に現在取り組んでいます。